

活動内容

〈題〉 教育についての会員の研修と協力により、学校・家庭・地域における生徒の教育を向上させる

学級名 渋民中学校家庭教育学級

学級担当者 晴山 雅光

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 渋民中学校PTA会員
- ・ 学級の運営組織 渋民中学校PTA役員（会長・副会長・監事） 渋民中学校職員 渋民中学校保護者
- ・ 学習のねらい、重点 会員相互の協力と、学校・地域・家庭の連携を図り、よりよい生徒の育成を目指す

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講 話 題	講 師 （職・氏名）	参加人数
1	12/2(土)	「自分からできる子」を育てる親の魔法の言葉とは	日本支援助言士協会 東海林 千秋	51名
		内 容 親子関係を良好にする言葉かけについて、ワークショップ形式をつかって「親も子もちょっとラクになる」学習	感 想 等 親子関係を良好にする言葉かけについて、ワークショップ形式の講義により、より実感・体感した、「目からウロコ」、感動の交流ができた時間でした。	
2		講 話 題	講 師 （職・氏名）	参加人数
		内 容	感 想 等	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・コロナ禍にあって工夫したこと

- ・ 広い会場を手配し、机・椅子の配置を工夫し、密にならない形で会話しやすい体制を整えた。
- ・ 基本的な感染対策についてはインフルエンザ感染の流行により継続して行った。

(2) 今後の課題

- ・ 様々な行事な重複・集中した今年度、参加体制が十分でなかった。今後は、様々な行事を把握した上で、開催日時を計画していくようにしたい。

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関すること等

- ・ これからも、今年度同様に渋民中学校PTA家庭教育学級として、推進していきたい。